

研修名 第6回カリキュラムコーディネーター養成研修会(初級編)
主催団体日本高等教育開発協会

場所：芝浦工業大学豊洲キャンパス
期間：2026年2月13日（金）、14日（土）

1. 研修の内容

○研修の到達目標

- ・所属組織において、なぜカリキュラムの改善が必要なのかを説得力をもって説明できる。
- ・大学のカリキュラムの特徴と編成と評価の原理を説明することができる。
- ・所属組織のカリキュラムの特徴と課題を抽出することができる。
- ・カリキュラムに関するさまざまな課題解決の方法を提案することができる。
- ・大学のカリキュラムに関する多様な考え方や実践事例を尊重し、共に学びあう雰囲気貢献できる。

○プログラム

1日目

- ・オリエンテーション
- ・教学マネジメントの背景と意義
- ・所属大学のカリキュラムの特徴と課題
- ・3つのポリシーの見直しと修正
- ・カリキュラムの編成と実施
- ・カリキュラムの評価と改善
- ・カリキュラムコーディネーター実践事例
- ・質疑応答

2日目

- ・教学マネジメントの組織体制
- ・カリキュラムコーディネーター実践事例
- ・カリキュラムの課題解決案の作成と共有

○その他

- ・全国の大学から50名程度参加（教員約4割、職員約6割）。1日目、2日目と5～6名ほどのグループに分かれて実施。講義だけでなく、グループワークや課題解決案の発表等を行った。

2. 研修の成果

研修に参加するにあたって、テキスト「カリキュラムの編成（玉川大学出版部）」「学習成果の評価（玉川大学出版部）」を踏まえた事前課題が課されており、あらためて、カリキュラム編成に関する基礎事項や関連する法令等を認識し直すとともに、自大学における3つのポリシー（アドミッションポリシー、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー）、教学マネジメント指針、アセスメントポリシー等を再確認する良い機会となった。

本学において、他大学でも実施している施策は一通り実施できているが、あらためて、現在のカリキュラムにおける特徴や課題を検討し、3つのポリシーを踏まえたカリキュラム編成の重要性、学修成果の可視化など、更なる改善に向けてのヒントを得ることができた。

またグループワーク・発表では他大学の取り組み状況や体制など本学とは異なる点を確認することができた。

3. 授業への研修成果の反映状況

愛知大学は 2025 年度に全学的なカリキュラム改編を行った。そのカリキュラムや 2027 年度開設予定の新学部の完成年度を迎えた以降に、カリキュラムを改編することになると思われるが、今後、カリキュラム改編を検討することになった際には、今回の研修内容を踏まえた助言・取り組みができるよう引き続き研鑽を積んで行きたい。

学習・教育支援 センター委員長	名古屋教務課長	係